

令和6年度学校経営計画

令和6年4月1日

北区立浮間中学校

校長 奥村 宏

1 学校経営の基本的な考え方

(1) 北区の教育

- ・教育目標 「教育先進都市・北区」の教育は、教育基本法に則り、人間尊重の精神を基調とする。
地域社会の一員として自覚のもと、ふるさと北区に誇りをもち、自らの力で人生を切り拓き、広く国際社会に貢献することのできる、心身ともに健康で文化的な資質をもつ人間を育成することを目指す。
- ・基本方針
 - ①『まなび』 個の成長 《自ら学び・考え・行動する力の育成》
 - ②『ささえ』 協働と貢献 《地域を支え社会に貢献する人づくり》
 - ③『つなぐ』 継承と循環 《世代を超えてつながる学びの創造》
- ・北区教育ビジョン2024
 - ①3つの柱
 - ②14の取組の方向
 - ③46の主な施策

(2) 本校が目指す教育

- ・校 訓 「真 善 美」 ～人間としてあるべき理想の姿～
- ・教育目標 ○自ら考え正しく判断し、主体的に行動できる生徒（知）
○感性豊かで思いやりのある、礼儀正しい生徒（徳）
○心身ともに健康な生徒（体）

◎何事にも真剣に取り組む生徒の育成（令和6年度の重点目標）

- ・目指す学校像 生徒が安心して学び、生活し、生きる力を獲得する場が学校である。成功や失敗を通じた経験や達成感・成就感を味わわせ、**生涯にわたり、生き抜く力**を育てる。
- ・目指す生徒像 自主的・自律的な力を育て、困難に直面しても、自分の力で乗り越えていく力を身に付ける。また、**お互いの人格を尊重し、思いやりのある生徒**を育成する。
- ・目指す教師像 学校教育のプロフェッショナルとして、**熱意と使命感**をもち、自ら学び、生徒の良さや可能性を引き出し、伸ばすことができる教師を目指す。

2 今年度の基本方針

「学習指導要領」、「北区教育ビジョン2024」を踏まえ、生徒の発達段階や実態に合わせた教育計画を策定する。全教育活動を通して、4つの力を身に付けさせ、何事にも真剣に取り組む生徒を育成する。

・4つの力とは

- ①「考える」力・・・知識の定着、豊かな体験
- ②「書く」力・・・自分の考えを整理する
- ③「話す」力・・・自分の考えを表現する
- ④「共有する」力・・・他の人の考えを認め合う、お互いに考えを深め合う

(1) 確かな学力を保证する

- ・主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）を推進し、基礎的・基本的な知識・技能を定着させ、これらを適切に活用できる能力をもった生徒を育成する。
- ・習熟度別指導（数学）、少人数指導（英語）を行うことにより、**学ぶ意欲**を全教科に広げ、**学力の定着、向上**を目指す。
- ・一人1台端末や高速ネットワークを活用し、放課後学習や家庭学習の定着を図る。

(2) 豊かな心を育む

- ・「特別の教科 道徳」の趣旨を踏まえ、年間指導計画と別葉の検討・改善、教材や指導方法の研究を通して、よりよく生きるための問題解決的な学習や規範意識や人権感覚及び自尊感情を育むための多面的・多角的な指導の在り方を構築する。
- ・インクルーシブ教育システムの構築の推進を通して、他者理解や人格形成に関わる教育活動の充実を図る。
- ・毎朝10分間の朝読書を行い、読書習慣の定着を図る。また、浮間図書館と連携して、学校図書指導員とともに読書の啓発活動を行い、**読書活動**を推進する。
- ・礼に始まり、礼に終わる、「あいさつが自然にできる浮間生」を目指す。
- ・特別支援学級設置校の利点を生かし、通常学級との交流及び共同学習を積極的に行う。巡回拠点桐ヶ丘と連携し、特別支援教室における巡回指導の充実を図る。
- ・オリンピック・パラリンピック教育のレガシーの構築に向けた取組を推進する。

(3) 社会に貢献し、明るい未来を切り拓く生徒を育てる。

- ・基本的な生活習慣を確立し、正しい判断と行動力を身に付けさせる。社会の一員としての資質・能力を育成するため、生徒会活動、当番活動、ボランティア活動（年間3回以上）等を継続して行う。
- ・主体的に学び続ける資質・能力を育成するため、職場体験やキャリア教育の充実を図る。自己のキャリア形成の方向と関連付けながら、勤労観・職業観を育成する。
- ・SDGsの達成（2030年）に向けて、「**チーム浮間中**」で社会・地域貢献に積極的に参加しようとする生徒の育成を組織的に推進する。

(4) 地域に根差した学校づくりを推進する

- ・学校だより、学年だより、学校ホームページを充実させる。
- ・いじめ・体罰の根絶、**服務事故ゼロ、不登校生徒ゼロ**を目指し、保護者・地域から信頼される学校にする。特に不登校対策として、不登校対応巡回教員や不登校対応支援員、浮間子ども・ティーンズセンターと連携を強化する。
- ・Q-U調査を活用し、より良い学級・学校づくりに努める。
- ・学校サブファミリー（浮間中学校、浮間小学校、西浮間小学校）との**小中一貫教育**の視点に立ち、学力向上や特色ある教育活動の工夫・改善を図る。
- ・学校関係者評価や各行事の反省等を活用し、社会に開かれた教育課程の視点に立った教育を推進する。

3 その他の推進事項

- ①ICT機器の活用 ②部活動の負担軽減 ③学校行事の精選 ④検定試験への取組
- ⑤教育相談の推進 ⑥授業時数の確保 ⑦環境教育 ⑧学校評議員会の活用
- ⑨校内環境の整備（例 複合施設の活用、学年ラウンジの活用）
- ⑩**働き方改革の推進**（学校閉庁日年4回、ノー残業デー年12回、教職員の最終下校時刻の設定 等）
- ⑪情報の発信（学校経営計画、年間行事予定、いじめ防止、学校評価、生活のきまり 等）